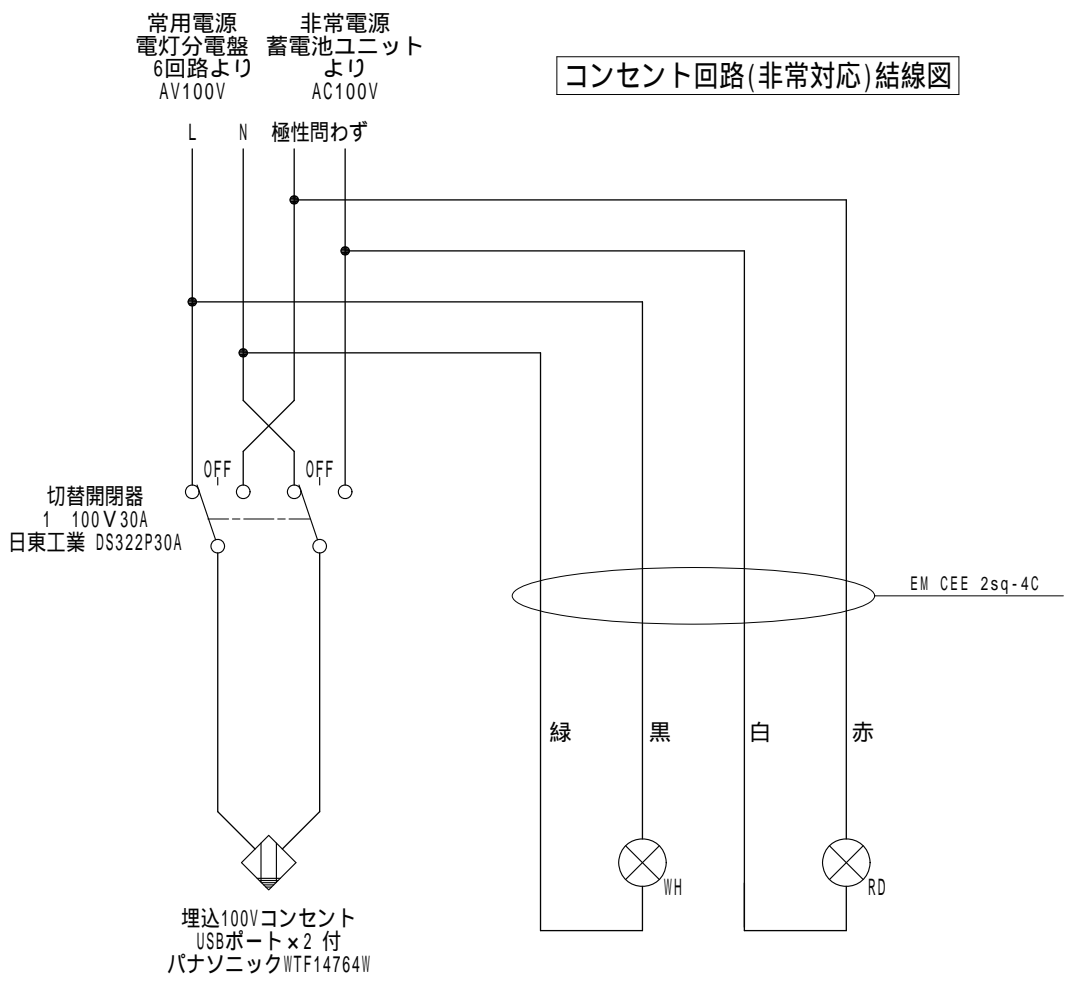
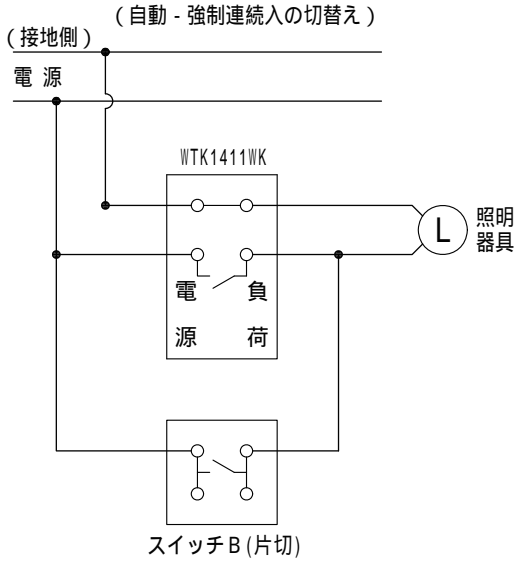


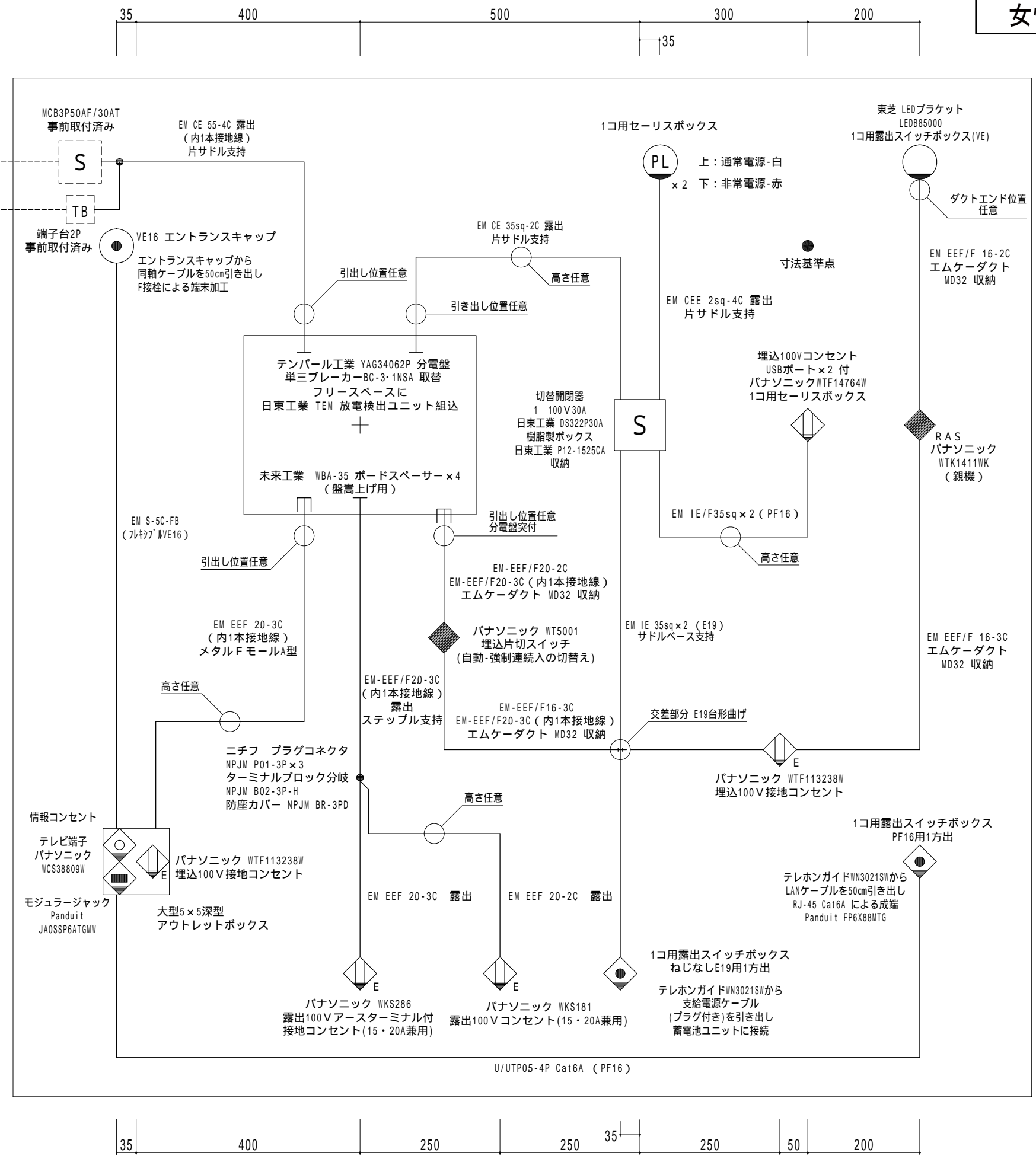
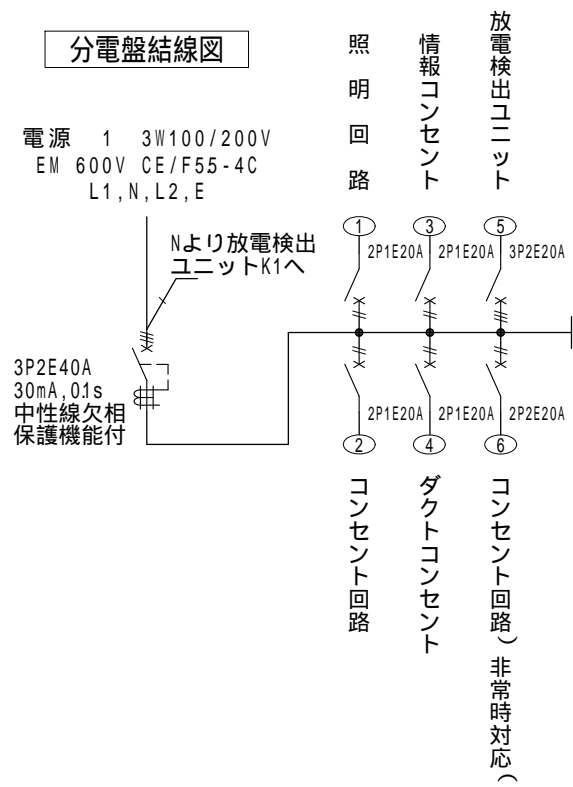
コンセント回路(非常対応)結線図



照明回路結線図



分電盤結線図



〒105-0014
東京都港区2-9-11
電話 03-5232-5861 FAX 5232-6855
全日本電気工業労働組合連合会

作成年月日	検印	名称 第4回電気工事技能競技全国大会(女性の部)技能競技課題	設計	図面 女性-1	御承諾印
発行	担当 作図	図名称 単線結線図	縮尺 S=1/8		R4.4.21 事前公表課題

本課題は地政学リスクやサプライチェーン等の状況により現在、一部メーカー資材（ランプ、制御部材等）に、8月までの供給確約が取れないものがあるため、内容を変更する場合があります。つきましては、8月31日（第一次選手募集締切日）までに、変更等の対応についてご案内いたしますので、ご理解の程宜しくお願いいたします。

作業指示内容

【寸法基準点】

1. 競技パネル左上部分に下記の寸法で寸法基準点を設定すること。
(女性の部) 競技パネル右端から400(mm) 上端から300(mm)
2. 課題図面の寸法は総て、寸法基準点から墨出しをすること。競技パネルは水平・垂直ではありません。

【競技共通】

1. 各種ケーブルの端末のテープ処理としてテープ巻きは不要とする。
2. 課題図面に寸法指示が無いものは、各自で判断し施工すること。配管配線等の経路や曲げ位置も指示がある場合を除き各自の判断で施工すること。
但し、支給材料以外の利用及びその数量を増やすことは出来ません。
3. 支給材料が余ることもあります。数量選定については回答致しません。如何なる方法でも不足する場合のみ問合せ願います。
4. 競技に持ち込める図面は、サイズA3とし枚数制限はしない。但し、課題図面ではなく各自で作成した施工図の持ち込みも可能とします。

【競技パネル電源】

1. 概ね課題図面の位置に、引込開閉器・接地端子が事前に設置されています。正確な位置は公開致しません。
2. 電源供給は、単相3線式100V/200Vで、接地端子1次側はD種接地に接続済みです。完了後は遮断機を『切』とする。

【分電盤】

1. 単相3線分岐配線ブレーカーと放電検出ユニットは事前に送付するので各自で組込を行い、組込完了の状態から競技を開始。完了後は全ての遮断機を『切』とする。
2. 放電検出ユニットはリースペースにDINレールを用いて取付する。取付ビスは送付しないので各自で用意して取付ける。
放電検出ユニットの設定は、機能切替『ALL-ON』、ブザー音量『大』とする。
3. 電灯盤内はボードスペーサー(未来工業 WBA-35)でかさ上げ取付する。電灯盤裏部分は結束バンドを利用する必要は無い。
4. 電灯盤内の回路構成及び接続は、課題図面に従うこと。
5. 分電盤漏電遮断機の中性線1次側端子～放電検出ユニット間はEM IE/F3.5(黄)を使用して配線、接続すること。
6. 電灯盤からスイッチ、コンセント、照明器具にいたる接地側(N相)は、すべて白色の電線を使用、また非接地側電線は赤色または黒色の電線を使用する。
7. 電灯盤は事前にボードスペーサーと共に選手指定の場所へ送付するので、事前に組立し練習用に使用してよい。
また大会当日も組立済の電灯盤を使用するので、ボードスペーサー(未来工業 WBA-35)は取外し、大会前指定日(後日連絡)までに、全日電工連へ送付すること。

【電源切替開閉器】

1. 接続は配線図、取扱説明書に従って施工する。
2. 電源切替開閉器とブラボックスは事前に送付するので各自で組込を行い、組込完了の状態から競技を開始。完了後はレバーを常用電源側に倒す。

【エムケーダクト】

1. エムケーダクトのベースは事前に切断した状態で支給するが、カバーは競技中に各自で切断加工して取付すること。
2. 取付はベース部に穴あけしてビス留めする。ビスの位置や数量は各自で判断して取付けること。
3. 配線器具は、付属のDCフレームを使用して取付ける。
4. 照明器具側の端部にはエンド差込型を取付ける。ケーブルはエンドに穴あけ加工して取り出す。穴あけサイズや位置は各自で判断すること。

【照明器具・スイッチ】

1. 照明器具とエムケーダクトの間隔は各自で判断して取付けること。器具側のダクト端部はエンド差込型に貫通穴を開けて電線を配線する。
2. 照明器具の取付にはスイッチボックスを使用する。
3. 照明器具の点滅は、人感センサースイッチによる自動点灯と片切スイッチによる手動点灯を併用することとする。完了後はスイッチを『切』とする。
4. かってにスイッチ(WTK1411WK)は、完了後に動作保持時間『10秒』、明るさセンサ『切』、手動スイッチ『切』とする。
5. エムケーダクト内の配線接続は、配線器具の裏側でのみ可能とする。電線相互の接続には差込コネクタを使用する。
6. 照明器具の配線接続は、スイッチボックスの内部でリングスリーブにより接続し、絶縁キャップを取付して収納する。

【メタルエフモール】

1. 分電盤との収まりや曲げ位置、ビス固定位置は各自で判断すること。
2. アウトレットボックスとの接続部はコンビネーションを使用する。

【配管・配線】

1. 各種サドル、ステップルの取付位置や数量は各自の判断により取付ける。
2. ボックスにケーブルを入線する箇所にはケーブルブッシングを取付ける。
3. 金属管の接地は省略とする。
4. エムケーダクトの分電盤側突付の加工については各自で判断し分電盤下部側面に隙間を最小限にすること。
5. エムケーダクトとE19金属管との交差部では、エムケーダクトのカバーが開閉できるだけの離隔を確保すること。
6. 蓄電池ユニットに接続するケーブルを見栄えよく収容すること。収容方法は各自工夫すること。また、そのための資材は各自で用意すること。

【LANケーブル、同軸ケーブル】

1. LANケーブルは、アウトレットボックスでモジュージャックに接続取付し、片端はテレホンガイドから取出しモジュラープラグを成端取付する。
2. LANケーブルの成端はT568Bとする。
3. 同軸ケーブルは、アウトレットボックスでTV端子に接続取付し、片端はエントランスキャップから取出しF型接栓を取付する。

第4回 電気工事技能競技全国大会（女性の部） 支給材料一覧表

女性-3

No.	品名	規格	メーカー	型番	数量	単位	備考	事前送付
0	画びょう	プッシュピン赤			1	個		
1	分電盤	フリースペース付き	テンパール	Y A G 34062 P	1	面		◎
2	単三プレーカー	単三プレーカー	〃	BC-3・1NSA	1	個		◎
3	分電盤取付金物		未来工業	WBA-35	1	組		◎
4	照明器具	LEDブラケット	東芝	LEDB85000	1	台		◎
5	同上ランプ	LED電球 ユニットフラット形	オーデリック	LDF5N-H-GX53/90	1	個		◎
6	放電検出ユニット		日東工業	TEM	1	台	分電盤組込み	◎
7	DINレール		〃	DRA-020B	1	個	70mmカット品	◎
8	電源切替開閉器	手動 2P30A	〃	DS322P30A	1	台		◎
9	プラボックス	透明カバー	〃	P12-1525CA	1	台	電源切替開閉器収容	◎
10	かってにスイッチ 親機		パナソニック	WTK1411WK	1	〃		
11	埋込スイッチ	片切	〃	WT5001	1	〃		
12	100V 接地コンセント		〃	WTF113238W	2	〃		
13	100V コンセント	USB充電ポート×2口	〃	WTF14764W	1	〃		
14	スイッチハンドル	1コ用	〃	WT3001W	1	〃		
15	テレビ端子		〃	WCS38809W	1	〃	F型接栓同梱（1個）	
16	F接栓	S-5C-FB用	DXアンテナ	FP-5	1	〃		
17	情報モジュージャック	Cat6A JISプレートキット	Panduit	JA0SSP6ATGMW	1	〃	接続治具EGJT-1のみ支給	◎
18	L A Nモジュラープラグ	RJ-45 Cat6A	〃	FP6X88MTG	1	〃		
19	テレホンガイド	ワイド21	パナソニック	WN3021SW	2	〃		
20	スイッチ金属取付枠	ワイド21	〃	WT3700020	1	枚		
21	コンセント絶縁取付枠	ワイド21	〃	WTF3710K	3	〃		
22	ボックス用絶縁セパレータ		〃	WV2450	1	個		
23	ワイド21プレート	スイッチ用	〃	WTC7101W	2	枚	ラウンド型 ホワイト	
24	〃	コンセント用,1コ用	〃	WTF7001W	2	〃	ラウンド型 ホワイト	
25	〃	〃 ,3コ用	〃	WTF7003W	2	〃	ラウンド型 ホワイト	
26	〃	〃 ,2+3コ用	〃	WTF7005W	1	〃	ラウンド型 ホワイト	
27	パイロットランプ	200V、白	〃	WN3032WK	1	個	電圧検知型	
28	〃	200V、赤	〃	WN3032RK	1	〃	電圧検知型	
29	取付枠	フルカラー用	〃	WN37000	2	枚		
30	フルカラーモダンプレート	2コ用	〃	WN6002W010	1	〃	ミルクキーホワイト	
31	露出コンセント	接地コンセント(15・20A兼用)	〃	WKS286	1	個		
32	〃	コンセント(15・20A兼用)	〃	WKS181	1	〃		
33	プラグコネクタ		ニチフ	NPJP01-3P	3	〃		
34	ターミナルブロック分岐		〃	NPJB02-3P	1	〃		
35	防塵カバー		〃	NPJB01-3PD	1	〃		
36	エムケーダクト		マサル工業	MD32	1	本	2m	
37	平面マガリ		〃	MDM132	2	個		
38	DCフレーム1連		〃	DCF12	3	〃		
39	エンド差込型		〃	KMDE32	1	〃		
40	メタルエフモール	A型	〃	MFT1102	1	本	1m	
41	メタルモール付属品	マガリ	〃	MFMM12	2	個		
42	〃	コンビネーション	〃	MFMC12	1	〃		
43	〃	ブッシングA型	〃	MFMB12	1	〃		
44	ねじなし露出スイッチボックス	E19、1コ用1方出	パナソニック	DS70191K	1	〃		
45	アウトレットボックス	大型四角深型	〃	DS38546B	1	〃		
46	同上塗代カバー	2コ用	〃	DS4712B	1	枚		
47	セーリスボックス	1SB（塗代カバー付）	〃	DS4911KB	2	個		
48	ねじなし電線管	E19	〃	DW819K	1/2	本		
49	ボックスコネクタ	E19用	〃	DS02192	1	個		
50	サドルベース	E19用	日動電工	SA-19E	3	〃		
51	露出スイッチボックス	PF16、1コ用1方出	未来工業	SW1-16FG	1	〃		
52	合成樹脂管	7ルキ ヴE16	〃	VE-16FJ	1/2	本		
53	同上 ボックスコネクタ	2号コネクタ、VE16用	〃	2K-16J	1	個		
54	同上 エントランスキャップ	VE16用、1つ穴	〃	MEC-16AJ	1	個		
55	PF管	PF16	〃	MFS-16	3	m		
56	同上ボックスコネクタ	PF16用	〃	MFSK-16G	3	個		
57	台付サドル	VE・PF兼用	〃	SPF-16J	15	〃		
58	照明器具取付用ボックス	露出スイッチボックス	〃	PVR16-BC1M	1	〃		
59	ケーブル	EM 600V CE/F5.5-4C BWR	-		2	m		
60	〃	EM 600V CE/F3.5-2C BW	-		2	m		
61	〃	EM 600V EEF/F2.0-3C BWG	-		5	〃		
62	〃	EM 600V EEF/F2.0-2C BW	-		2	〃		

第4回 電気工事技能競技全国大会（女性の部） 支給材料一覧表

女性-3

No.	品名	規格	メーカー	型番	数量	単位	備考	事前送付
63	〃	EM 600V EEF/F1.6-3C BWR			2	〃		
64	〃	EM 600V EEF/F1.6-2C BW	-		1	〃		
65	同軸ケーブル	EM-S-5C-FB	-		2	〃		
66	LANケーブル	U/UTP0.5-4P、Cat6A	日本製線	4P NSGDT6-10G-WARP (RD)	4	〃	ケーブル色（赤）	
67	絶縁電線	EM 600V IE/F2.0mm 黒			1	〃	盤内	
68	〃	EM 600V IE/F2.0mm 白			1	〃	盤内	
69	〃	EM 600V IE/F2.0mm 赤	-		1	〃	盤内	
70	〃	EM 600V IE/F3.5sq 黒	-		3	〃		
71	〃	EM 600V IE/F3.5sq 白	-		3	〃		
72	〃	EM 600V IE/F3.5sq 黄	-		1	〃	盤内	
73	電源ケーブル	2P15A差込みプラグ付き	正和電工	SYU-315	1	本		
74	ケーブルブッシング	22・25用	未来工業	CBZ-22	4	個		
75	片サドル		〃	KTK-D18K	15	〃		
76	絶縁ステップ		カワグチ	ステップルNo.1グレー	10	〃		
77	〃		〃	ステップルNo.3グレー	10	〃		
78	棒状端子	2～3.5sq用	パナソニック	WV2501	8	〃	絶縁キャップ付	
79	圧着端子	R5.5-S6	-		6	〃		
80	〃	R5.5-S5			1	〃	盤内アース接続	
81	〃	R3.5-5	-		7	〃		
82	〃	R2-5	-		4	〃		
83	絶縁キャップ（圧着端子用）	5.5sq 赤	-		2	〃		
84	〃	5.5sq 白	-		2	〃		
85	〃	5.5sq 黒	-		2	〃		
86	〃	5.5sq 緑	-		1	〃		
87	〃	3.5sq 白			3	〃		
88	〃	3.5sq 黒			3	〃		
89	〃	3.5sq 黄			1	〃		
90	〃	2sq 赤	-		1	〃		
91	〃	2sq 白	-		1	〃		
92	〃	2sq 黒	-		1	〃		
93	〃	2sq 緑	-		1	〃		
94	差込型コネクタ	3コ用	ニチフ		2	〃		
95	〃	2コ用	〃		1	〃		
96	リングスリーブ（小）		〃		4	〃		
97	リングスリーブ用絶縁キャップ	トーマーキャップ（小）	カワグチ		4	〃		
98	ボックスビス	皿4×15mm	-		20	本		
99	タッピングビス	なべ4×40mm	-		2	〃		
100	〃	なべ4×30mm	-		4	〃		
101	〃	皿4×20mm	-		15	〃		
102	〃	トラス4×16mm	-		50	〃		
103	マジックテープ	100～150mm	-		1	〃		
104	インシュロック	150mm	-		10	〃		

※事前送付材料について ◎・・・全日電工連へ要返送（競技大会当日使用）


COMPETITION RULES 競技規則

2022年4月21日制定

技能競技大会は電気工事の「安全作業」と「先端技術」を両立させるだけでなく、競技を通じて現場作業の手本となる人材を育成し若年層へ電気工事の魅力伝えるために開催します。

技能競技全国大会を開催する上で競技規則を制定することは最重要事項であり、安全作業について共通認識を持つためのものです。

全国の組合組織が取り組むことで「作業環境の向上」や「品質の向上」そして電気工事業界がさらなる発展に繋がることを目指していきます。

 全日本電気工事業工業組合連合会

技能競技委員会

The Federation of Electrical Engineering
Contractors Cooperatives of Japan.

I. 技能競技(実技試験)

【作業板】

合板:1820mm×1820mm

【競技ブース】

1. 寸法、幅:2500mm×奥行3760mm(作業範囲)
2. 開会式終了後、競技ブースへ入ってから競技が終了するまでは、競技ブース外への移動及び外部見学者、応援者との会話を一切禁止とする。(タブレット、ノートPC、スマホ等での連絡も一切禁止)
但し、トイレや体調悪化などやむを得ない事情が発生したときは拳手をし、競技員の指示に従うこと。
3. 競技に使用するパネル及び床はお客様の設備とみなすので、傷つけた、汚したりしないよう注意すること。
また、床面は養生を施し、工具・材料の設置も含め養生部分を作業範囲とする。

【競技時間】

一般の部 :180分

女性の部 :150分

高校生の部:120分

【服装】

1. 服装は作業に適したものとし、作業服、安全帽(全日電工連から支給)、作業手袋及び作業靴を着用すること。
但し、スニーカータイプの安全靴も使用可とするがその場合は脚絆等を着用し、ズボンの裾がブラブラしないようにすること。
2. 競技中は支給するゼッケンを着用すること。

【使用工具の制限】

1. 競技会場は火気厳禁である。パワーカッター・高速カッター等火花が発生する工具類の持ち込みは禁止とする。
2. 常用の腰道具の他にベンダー、圧着工具、水平器などの工具類、試験器、測定器、保護具、掃除道具、その他必要と思われるものは選手各自で準備すること。
また、電動工具は充電式のみ可とする。(会場内、競技ブース内に作業用コンセントは設置しない)
なお、カッターナイフの使用は禁止とする。
3. 材料及び工具類の置き場としてケースワゴン・テーブル等は各自の作業スペースを考えて設置してよい。
また、ビス・ステップル等の雑材を入れるケースの持ち込み及びその着用も許可する。
4. 金属管曲げ加工における「一発ベンダー、ハイベンダー」及び継ぎ管の使用は許可する。
但し、下記の工具類の使用は許可しない。
(1)あきらかに不安全と見られる工具
(2)配管曲げ加工のための型枠、型取り器類
(3)競技課題内容に応じた、ボックス等の取り付け寸法用の特別定規及び特殊な治工具類
※使用予定の工具が、使用禁止工具に該当するか不明の場合は質問として内容を提出すること。
5. ボックスの取付等に使用する墨出しはチョークライン(色は問わない)を用い、作業完了時に消去しない。
6. レーザー光を用いた墨出し等の工具は、万一の誤照射に備え、使用を禁止する。
7. 立ち馬、バイス台等も含め、工具の貸出しは一切行わないものとする。
8. 安全面を考慮して脚立の使用を禁止する。(立ち馬(可搬式作業台)の使用を推奨)

【寸法基準点】

1. 競技パネルに指定された寸法基準点を競技開始後に各自で設定すること。
2. 寸法基準点から水平、垂直となる基準墨を引き、作業完了時には寸法基準点を支給された画鋲(プッシュピン赤)で示すこと。(基準墨のひき方は別紙「墨出し方法」を参照)
この基準墨はチョークラインを用い作業完了時に消去しない。

【安全作業】

1. 工具等は前日の使用前点検をしっかりと行い、競技中はケガのないよう安全作業を心掛けること。
2. 明らかな不安全行為が発見されたときは、作業の一旦停止または中止を指示することがある。
また、作業中の態度、服装なども採点の対象となるので注意して作業を行うこと。
3. 金属管の切断時には必要に応じて注油(スプレー式も可)を行い、フェイスシールド等を着用すること。
4. 各種安全対策はその基本動作はもちろん、工夫ある対策を施すように努力すること。
5. 安全作業については5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)に基づくものであり、審査項目を表1に記す。
6. 送電時はフェイスシールド等でしっかり顔全体を守ること。

表1:安全作業等における審査項目

技能競技開始準備時	
安全帽	<ul style="list-style-type: none"> 安全帽を適正に着用していること。 安全帽は着用しているが、あご紐が結ばれていない、もしくは明らかにあご紐がゆるいなどがないこと。(指2本が入るのが適当) ※安全帽を忘れた選手は貸出にて作業は許可する。
安全靴	<ul style="list-style-type: none"> 安全靴を履くこと。
服装の乱れ	<ul style="list-style-type: none"> シャツをズボンの内側に入れ、袖等のボタンがはずれるなど服装の乱れがみられないこと。
裾の処理	<ul style="list-style-type: none"> 長靴型安全靴や脚絆等を使用して裾が構造物等に引っかからないようにされていること。 ソックスの内側に裾を入れていないこと。 ソックスバンドだけで裾を止めていないこと。(ソックスバンドを使用し、裾をまとめたうえで長靴型安全靴や脚絆を使用している場合は良いものとする)
床養生	<ul style="list-style-type: none"> 床養生シートが敷設されていること。 また、敷設されていても、その面積が小さく作業範囲を満たしていない等の不十分な敷設がないこと。
技能競技開始から終了まで	
1人KY活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 作業開始時に1人KY活動(危険予知活動)を実施すること。
電気工事士免状の携帯	<ul style="list-style-type: none"> 1人KY活動時、電気工事士免状を競技員に提示すること。
保護具の着用	<ul style="list-style-type: none"> 競技中、安全帽・安全靴を着用すること。(競技中は常時着用)
小工具の未使用時の保管	<ul style="list-style-type: none"> ペンチ、ドライバー等の工具未使用時に盤の上や床、立ち馬(可搬式作業台)に置かないこと。 但し、資材を床や作業台の上に置くことはこの限りではない。 立ち馬(可搬式作業台)等の足場に電工袋等をぶら下げないこと。
金属管ベンダーの保管	<ul style="list-style-type: none"> 金属管ベンダーは競技パネル他に立てかけないこと。
金属管切断時の作業	<ul style="list-style-type: none"> 金属管切断時、フェイスシールド等を着用すること。 回転工具類を使用する際は、手を巻き込まれる危険があるので手袋を外すこと。
金属管切断後の作業	<ul style="list-style-type: none"> 金属管内のバリ取りをすること。
作業台の基準	<ul style="list-style-type: none"> 作業台の基準は次のとおりとする。 天板:幅500mm以上、奥行き300mm以上、高さ:概ね600mm以下(それを超える場合は競技員が使用の可否を判断する)、耐荷重:100kg以上 ※脚立の使用は禁止とし、立ち馬の使用を推奨とする。
作業姿勢・態度	<ul style="list-style-type: none"> 作業台での作業中は不安全な姿勢を取らないこと。(片足になる、つま先立ちになる、体勢を崩すほどのけ反る等) 作業台から降りる時、ステップを無視して降りないこと。 作業台から降りる時、前向きに降りないこと。
作業中の保護手袋の着用	<ul style="list-style-type: none"> 作業中には必要に応じて保護手袋を着用すること。 保護手袋の指先が開いているものは不可とする。 回転工具類の使用時は手を巻き込まれる危険があるので手袋を外すこと。(労働安全衛生規則第111条) 弱電結線は手袋を外しても良いものとする。 自主検査時(絶縁抵抗測定・電圧測定の時)に低圧用電気絶縁手袋を着用すること。
競技ブースの出入り	<ul style="list-style-type: none"> 競技員の許可なく、選手の勝手な判断でブースを出入りしないこと。
応援者・見学者との会話通信等での連絡	<ul style="list-style-type: none"> 選手と応援者・見学者間の会話及び通信等で連絡をしないこと。 但し、応援者・見学者から競技内容とは関係ない、選手への声かけ(応援等)はこの限りではない。 ※タブレット、ノートPC、スマホ等の通信機器は確認・撮影の時以外は所定の場所に保管すること。
材料の補充	<ul style="list-style-type: none"> 施工の失敗等で材料の補充が1回以上あったもの。但し、前日の事前準備時における材料の補充、交換はこの限りではないものとする。 ※材料の補充が必要な場合は拳手をし、競技員に申し出ること。
作業中の怪我	<ul style="list-style-type: none"> 作業中に怪我をしないこと。
作業範囲外について	<ul style="list-style-type: none"> 作業範囲(養生シート)から材料・工具がはみ出ないこと。
材料・工具のふみつけ	<ul style="list-style-type: none"> 作業中、材料・工具の踏みつけや蹴とばしがしないこと。

不安全工具	・明らかに不安全とみられる工具を使用しないこと。
不安全行動	・作業中にステップルやビス等を口に咥えないこと。 ・床におしりをつけないこと。 ・工具をポケットに入れないこと。
自主検査	・定期的に自主検査を実施している測定機器を使用すること。 ※校正シールまたは校正証明書を作業完了報告の際に競技員に提示すること。 ・絶縁抵抗測定 of 印加電圧 200V電路は250Vを印加して測定すること。 100V電路は125Vまたは100Vを印加して測定すること。
通電禁止措置	・作業開始後、通電禁止措置をすること。

【作業開始時及作業完了時における諸注意】

1. 作業開始の合図があったら、作業に取り掛かる前に1人KYK活動(危険予知活動)を実施すること。
※大会前日のオリエンテーションで実施方法を説明する。
2. 競技中、10分間の一斉休憩を行うので、その間は全ての作業を中止すること。(競技員の許可なく、ブースを出ないこと)
3. 課題が完成したら、配線用遮断器、スイッチ類は作業指示書に記載してある完了状態を参照すること。
課題が完成したら、作業完了報告書の作成、競技ブース内の清掃及び工具、残材等の後片付けを行う。
4. 工具・残材は競技ブース内の見学者通路側(競技員の通路側)へ集約すること。
但し、残った資材及びゴミ類は、整理したうえで競技ブース内に残しておいて良い。
5. 清掃及び片付け終了後、競技ブース内に設置された「終了押しボタン」を押して本部に連絡してから、競技員に対し大きな声でゼッケン番号と作業完了した旨の声を申告し、完了チェックを受けること。
6. 競技員による完了チェック後、完了報告書を提出し競技終了とする。
但し、競技時間が経過し競技終了となった時点で、課題は完成しているが作業完了報告書の作成、競技ブース内の清掃及び工具、残材等の後片付けが終わっていない場合については、審査対象とみなすため、競技ブース内に設置された「終了押しボタン」を押して本部に連絡してから、競技員に対し大きな声でゼッケン番号と作業完了した旨の声を申告し、完了チェックを受けること。
尚、競技終了時間は選手が「終了押しボタン」を押した時刻とする。(本部より連絡)
7. 完了チェックを受け作業を終了したら速やかに競技ブース外へ退場すること。
競技ブース外に退場した後は、競技ブースへの再入場は認めない。
但し、作品公開の時間内での写真撮影の際は、選手の競技ブースへの立ち入りを許可するが作品に触れないこと。

【その他】

1. 競技課題は地政学リスクやサプライチェーン等の状況により現在、一部メーカー資材(ランプ、制御部材等)に、8月までの供給確約が取れていないものがあるため、内容を変更する場合がある。
ついては、8月31日(第一次選手募集締め切り日)までに変更等について対応を案内するものとする。
2. 競技課題及び作業指示書は当日配布します。携帯電話等電子機器類のブース内への持ち込みは一切禁止する。
但し、一般の部の出場選手に限り、カメラ映像の確認・作業進捗撮影用としてのタブレット、ノートPC、スマホの持ち込みは許可する。
3. 大会当日、水(ペットボトル)は支給する。
また、個人で用意した水分補給用のドリンク類の持ち込みも許可する。
4. 競技課題の図面ではなく各自で作成した施工図の持ち込みはA3サイズまで可能とし、枚数制限はしない。

II. 学科競技(筆記試験)

【競技時間】

一般の部 :30分
女性の部 :30分
高校生の部:30分

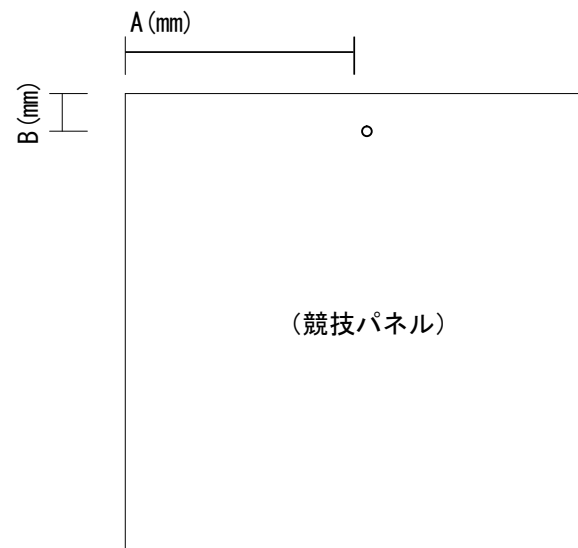
【服装】

1. 服装は作業服及びゼッケン着用とするが、安全靴は任意、安全帽は不要とする。

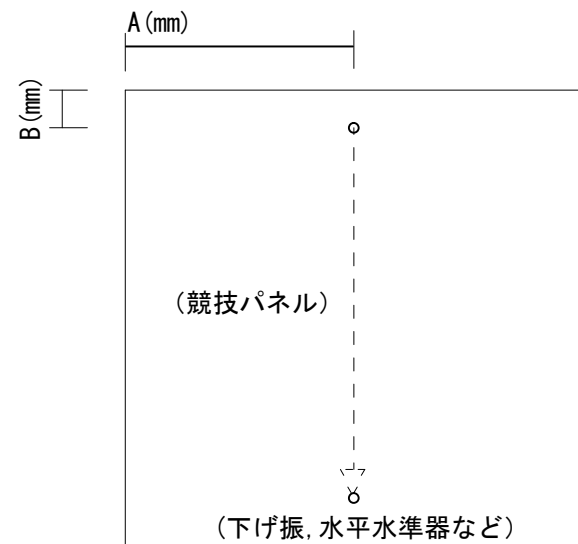
【試験中の諸注意】

1. 選手各自が準備・持参するものは筆記用具、消しゴムのみとし、その他のものはバッグなどに入れ、机の上には置かないこと。(電卓の持ち込み使用は禁止)
2. 指定された座席に着席した後は、競技員の指示に従い学科競技を進めること。
3. 学科競技はその終了の合図があるまでは、原則として試験会場からの外出、退室は認めない。

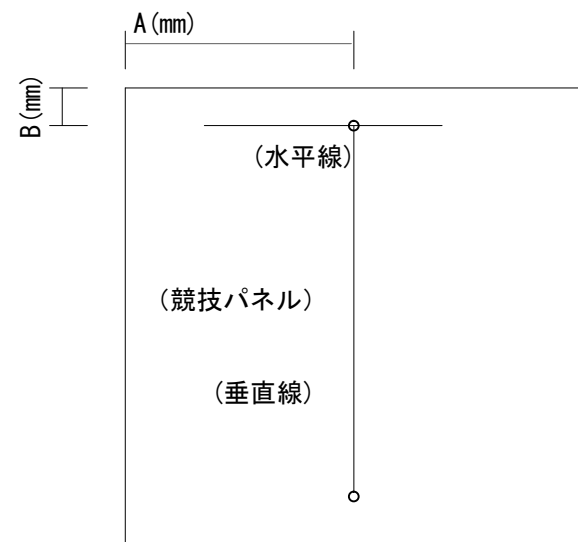
《寸法基準点から垂直・水平線の出し方》



- 寸法基準点の墨出し
作業指示書に記載されている寸法
(仮にA(mm), B(mm))で、競技パネル左端
部及び上端部から寸法基準点を出す。



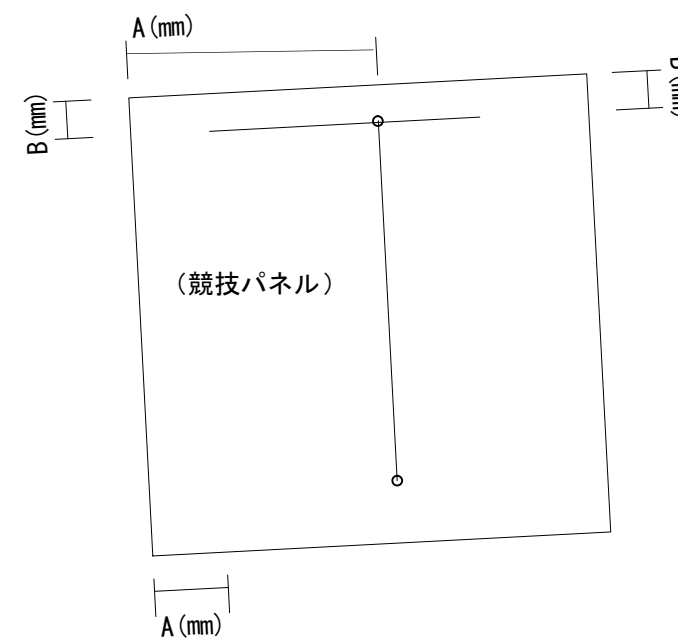
- 垂直線の墨出し
次に下げ振や水平水準器などで
寸法基準点から垂直線を出す。
垂直線はパネル端部との平行線ではなく
「引力に従った」垂直線であること。



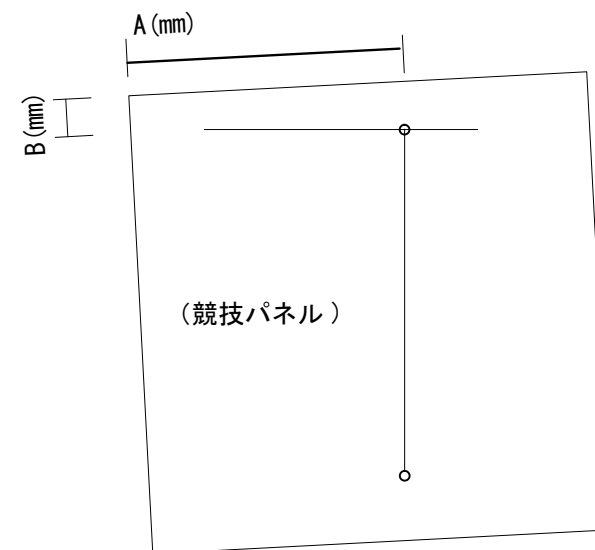
- 水平線の墨出し
最後に垂直線を基準とし、差し金や水平水準器
などで水平線を出す。
この垂直、水平線を基準とし、ボックス等の
位置を出すこと。

* 水平水準器での作業では、上記2, 3の
手順を逆にしてよい。

《補足》仮に競技パネルが傾いていたら



- 作業指示書に記載されている寸法
(仮にA(mm), B(mm))で、競技パネル左端部
及び上端部から寸法基準点を出す。
- 仮に競技パネルが垂直・水平に設置
されていない場合、下げ振りや水平水準器
などを使用せず、競技パネルの左端部及び
上端部からA(mm), B(mm)でもう1点づつを
出し墨出しした場合は、左図のよう
になるので、これをもって垂直・水平線とは
認めない。



- 作業指示書に記載されている寸法
(仮にA(mm), B(mm))で、競技パネル左端部
及び上端部から寸法基準点を出す。
- 仮に競技パネルが垂直・水平に設置
されていない場合、下げ振りや水平水準器
などを使用し、墨出しした場合は左図の
ようになるので、これをもって
垂直・水平線と認める。

訂正	月	
	日	
	年	



〒105-0014
東京都港区2-9-11
電話 03-5232-5861 FAX 5232-6855
全日本電気工業工業組合連合会

作成年月日	検印	名称	設計No.	図面No.	御承諾印
.	.	第4回 電気工事技能競技全国大会		墨出し方法-1	
発行	担当 作図	図名称	縮尺		
.	.	寸法基準点から垂直、水平線の出し方	S=1/15		